

影山 摩子弥



1959年、静岡県に生まれる。
早稲田大学商学部卒
〈専攻〉経済システム論、経済原論
〈現職〉横浜市立大学教授 横浜市立
大学CSRセンター長 横浜市立大学
生協理事長 キャリアアカウンセラ―

その声

CSR度200%

こんにちは。まこやです。

企業の不祥事がなくなりませんね。お客さんが食べ残したものを他のお客さんに出してたとか…。CSRに取組んでほしいですね、ホント。

CSRは、売ってるものの品質に気を使うだとか、いい仕事するだとか、その会社の業務の中でやることが大事なんです。食べ残しを客に出すなんて、もってのほかです。

さて、今日は、中小企業なんだけど、CSR度200%の企業をご紹介します。

CSRをとおして元気いっぱいなのが、戸塚区にある大川印刷です。

ここんちは、ソーシャル・プリンティング・カンパニー（つまり、「社会的責任をきちんと果たす印刷会社」ってこと）を理念に掲げて、いろんな取組みをしています。小学生の工場見学を受け入れたり、健康に配慮したインキを使ったり、地域の清掃活動をしたり、エコカーを使ったり…。環境への取組みでは、「グリーン購入大賞」まで受賞しています。そのほんの一部しか紹介できないですが、今回と次回に分けて、ご紹介しましょう。

写真1は、名刺ですが、象のフンから作った紙を使っています。「ッえッえ」と思われるかも知れませんが、フンを固めたんではなく、未消化の草を使用しているだけなのでご安心を。この紙、スリランカで作っています。それを取り寄せて、ここんちで印刷してるんです。

少し前、再生紙偽装問題なんてありました。が、これこそ究極のエコペーパーですよ。

また、ここんちは、色覚に異常のある方のために、活字を見やすいものにしてたり、配色に気を使ったり、それを企業に提案したりしています。写真2は、色覚異常があるとういうふうに見えるかの参考例です。下が、異常がある場合です。分かりにくいですよ。色覚異常の方って、女性では500人に1人、男性では20人に1人もいるので、この取り組みは、とっても大事なことです。

でも、色覚異常のある方にとって助けになるだけではありません。企業が効果的な広告を作るためにも、大事なことです。色覚異常があると、赤は黒く見えちゃったりするんで、色の組み合わせによっては、宣伝文句が見えなかったり、デザイン全体が真っ黒になるだけだったりします。これでは、効果的な広告にならないですよ。

ということとは、ここんちの仕事、企業のCSRのお手伝いをするにもつながってるんです。

いまだ、印刷業界で元気な会社なんて、それほど多くないです。でも、ここんちが元気なので、なんとなく分かりますよ。

では、つづきは、次回。

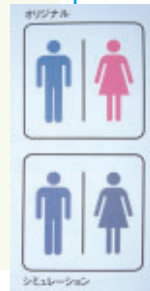


写真2

読者アンケートに
ご協力を！
メールを
お待ちしております

Eメール
mail@recycledesign.or.jp

HP

今月号いかがでしたか？ これまでの号も含め感想をお寄せください。Eメールのみでの受付となりますが、たくさんの感想をお待ちしています。

アンケート内容

1. 分別の仕方であなただが勘違いしていたことや、分からなくて困っていること
2. 今月号の感想

メールの件名を『リサイクルデザイン読者アンケート』とし、アンケートの質問番号の後に回答をお書きください。お名前(フリガナ)・郵便番号・ご住所・年齢・性別・職業をお忘れなく。(HPからの方が簡単です) 抽選で10名様にりくみちゃんシャープペンとノートのセットをプレゼントいたします。

